フットサルW杯に愛知県立候補

2020年

愛知県の大村秀章知事は4日、2020年の第9回国際サッカー連盟（FIFA）フットサルワールドカップ（W杯）の開催地に、愛知県が立候補すると発表した。20年大会は東京五輪の約3カ月後となる10月末から開催予定。五輪に続いてフットサルの祭典が愛知、そして日本を盛り上げる！

12年フットサルW杯のブラジル戦に出場した三浦知良㊨＝2012年11月1日、ナコンラチャシマで（共同）

大村知事「有力」

愛知に世界のスーパースターが集まるかもしれない。県庁で記者会見した大村知事は「国際スポーツ関係筋によると（日本、愛知での開催は）極めて有力と聞いている」と招致へ自信を見せた。

フットサルW杯は、1989年にオランダで第1回が開催された。92年の第2回以降は4年に1度開かれ、日本はこれまで4度出場。12年にはサッカーの三浦知良を代表に招集し、初めて1次リーグを突破するなど注目を集めた。20年大会は3～6会場で計50試合を行い、観客数は10～20万人、開催経費は数億円になると想定される。

単独での招致

愛知はフットサルFリーグで7連覇中のオーシャンズの本拠地。世界屈指の専用施設デバオーシャンアリーナ（名古屋市港区）など、常用施設は45カ所と豊富だ。愛知県によると国内、国外を含め、現時点で他に招致の意向を示している地域はなく、愛知県は単独での招致を目指す。

多数の日本代表を抱える名古屋オーシャンズの桜井嘉人ゼネラルマネジャーは、「立候補は大変喜ばしいこと。さらに加速的にフットサルが広まるきっかけになれば」と招致実現に大きな期待を寄せる。

今後は9日に大村知事らが日本サッカー協会を訪れ、招致活動の実施を要請。県と県サッカー協会、有識者でつくる開催に向けた研究会を立ち上げ、今秋をめどに構想をまとめる。その上で日本サッカー協会に概要書を提出し、FIFAにも働き掛けていく。開催地決定は17年ごろになる見込み。（青山直樹）

◆過去のフットサルW杯◆

年	場所	優勝	準優勝	日本の成績
1989	（オランダ）	ブラジル	オランダ	招待・第1R敗退
92	（香港）	ブラジル	アメリカ	アジア予選敗退
96	（スペイン）	ブラジル	スペイン	アジア予選敗退
2000	（グアテマラ）	スペイン	ブラジル	アジア予選敗退
04	（台湾）	スペイン	イタリア	第1R敗退
08	（ブラジル）	ブラジル	スペイン	第1R敗退
12	（タイ）	ブラジル	スペイン	ベスト16

フットサルで世界へ発信

知事、W杯招致を正式表明

大村秀章知事は四日、二〇二〇年の国際サッカー連盟（FIFA）フットサルワールドカップ（W杯）の招致に取り組むことを正式に表明した。知事はフットサルについて「愛知、名古屋から世界へ発信できるスポーツ」と述べ、開催に強い意欲を示した。（杉藤貴浩）

FIFAフットサルワールドカップの招致への意気込みを語る大村秀章知事＝県庁で

大村知事は、同年開催の東京五輪に加え、二七年にはリニア中央新幹線が開業することを指摘。「首都圏と中京圏が一体になることは分かっている。それまでに、東京に負けないような強力なコンテンツ（行事など）で発信していきたい」と述べ、県の将来を見据えた構想であることを強調した。

さらに、水面下で日本サッカー協会などと協議を重ねてきたことを明らかにし、「（愛知以外の招致の）動きは国内も海外も一切ない。国際スポーツ関係筋からは（愛知が）極めて有力と聞いている」と、招致に向けて先行しているとの考えを示した。

県はフットサルの全国リーグ「Fリーグ」を七連覇している名古屋オーシャンズの本拠地で、専用施設やアマチュアチームも多い。知事はこうした点から「愛知は日本のフットサルをけん引している。まさにW杯の最適地」と強調。九日に招致活動の開始を要請する日本サッカー協会の大仁邦弥会長にも地元の熱意をアピールする意向を示した。

招致のコンセプトでは「ボールをパスでつなぐように、県民、日本中、世界中の人々の思いと行動がつながっていくこと。多くの県民が見る、参加する、支える大会にしたい」と表現。観戦だけでなく、女性や障害者もプレーできる関連大会の同時開催にも意欲を見せ、〇五年の愛知万博で盛り上がった県民のボランティア精神にも期待を示した。

今後は「今年の秋ごろをめどに構想概要書をまとめたい。その上で招致委員会を立ち上げ、FIFAへ正式に招致を表明したい」と話した。従来通りなら、一七年ごろ二〇年大会の開催地が決定する見込み。

フットサルW杯 愛知誘致へ

20年秋

愛知県は4日、2020年秋に開かれる国際サッカー連盟主催の第9回フットサル・ワールドカップ（W杯）の開催地に立候補すると発表した。同年夏に開催される東京五輪・パラリンピックとの相乗効果で、世界に「愛知」をアピールしたい考えだ。

愛知県内にはフットサルの全国リーグ「Fリーグ」で7連覇中の名古屋オーシャンズの本拠地があるほか、日本初の専用コートもある。9日、大村秀章知事と県サッカー協会の鈴木登会長が日本サッカー協会に大仁邦弥会長を訪ね、正式に招致を要請する。大村知事はこの日の記者会見で、「愛知県は競技人口やボランティア人口の裾野も広く、W杯開催の最適地」と話した。

1989年に始まったフットサルのW杯は、92年から4年に1度行われ、2012年のタイでの7回大会では、三浦知良選手が代表入りし、注目を集めた。9回大会の開催地は次回のコロンビア大会後の17年頃に決まる見通しだ。フットサルは屋内でプレーする5人制のミニサッカーで、日本の競技人口は370万人程度。大会には24チームが参加し、10万～20万人の観客が見込まれている。